

外手だより

かんがえる子
がんばる子
やさしい子
けんこうな子

世界へかがやけ外手の子
6月号 No. 3
令和8年5月25日
墨田区立外手小学校

昔の外手小学校 ―今の様子や生活との違いを中心に―

校長 柿沼 広美

5月17日は開校記念日でした。そこで古い記念誌の中から昔の外手小を紹介します。

大正8年ごろ 校庭にすべり台、ぶらんこ、木馬、平行棒、ろく木があった。

昭和5年ごろ 先生の服装は男性が背広（スーツ）女性が和服に袴だった。

児童は制服があった。男子はカーキ色のボーイスカウト型上着とズボン（パンツ）、女子は黒色の上着をバンド（ベルト）でしめるものだった。

当時は45分授業、15分休みで休み時間ごとに並んで外に出て遊んだ。

遊びは馬とび、ヨーヨー、けん玉、ビー玉、メンコ、ゴムとび、おはじき

昭和34年 学校のプールが若宮公園に作られた。

昭和44年 水泳の級別があった。（今はありません）1級クロール100m 2級平泳100m
…5級バタ足40m…9級仰向き蛙足20m 10級めんかぶり8mなど

昭和47年ごろ 毎週木曜日に全校合唱をした。「熊さんの歌」「ラ・クカラーチャ」など

昭和60年ごろ 全校遠足で江戸川堤（土手）に行った。

平成2年 運動会で6年生が音楽に合わせて10人ピラミッド、肩車などの組体操をした。

6年生全員がトランペット鼓隊になった。全校児童が演奏に合わせて行進した。

平成8年 ランチルームができた。（今は学童室）クラスごとにそこで給食を食べた。

平成11年 パソコンルームができた。（今は算数室）パソコン室に行って授業をした。

咲かせよう！4年あいさつの花

4年生は心や体、社会性などさまざまな面で大きく成長する時期です。学習では、抽象的な内容が増えてきます。難しく感じることもあるかと思いますが、疑問から興味が広がって調べたり、長い話を読んだりすることもできる児童が増えます。また、客観的な視点を持ち、一人一人感じ方に違いがあることを理解できるようになってきます。時にはトラブルもありますが、人間関係を学ぶ機会として、今後に生かしていく力をつけてほしいと願って指導しています。

現在、4年生全体で「あいさつの花」運動に取り組んでいます。校内の先生方に会ったときに自分からあいさつができれば、学級にある台紙に花びらをつけていく活動です。笑顔で元気いっぱいのあいさつが飛び交っています。あいさつの素晴らしさをみんなが感じ、対象が先生から友達、学校全体、保護者や地域の方々などに広がっていくと、さらにすてきな外手小学校になっていくはずです。 4年担任 高橋 有希

まなびの教室 外手 より

「まなびの教室」は、墨田区内の全小学校にある特別支援教室の愛称です。特別支援教室は、在籍学級での学習や生活に困難さを感じている子供が、校内で必要な指導を受けられる教室です。例えば、自分の気持ちを言葉にしたりコントロールしたりすること、落ち着いて集中して課題に取り組むこと、文字を読んだり書いたりすることへの苦手意識を軽減し学習意欲がもてるようにすること、などをできるように支援します。本人のできるようになりたいこと、保護者・在籍学級担任のできるようになってほしいことなどの願いを受けて、指導目標を設定し支援を行っていきます。また、今年度も各学級で、担任からまなびの教室紹介をしていただきました。まなびの教室への理解を広げながら、まなびの教室に通う子供が安心し、自信をもって学校での生活が送れるよう、まなびの教室が架け橋となって、支援していきます。

まなびの教室 池崎 純子